

Outline

Introduction to Media Studies

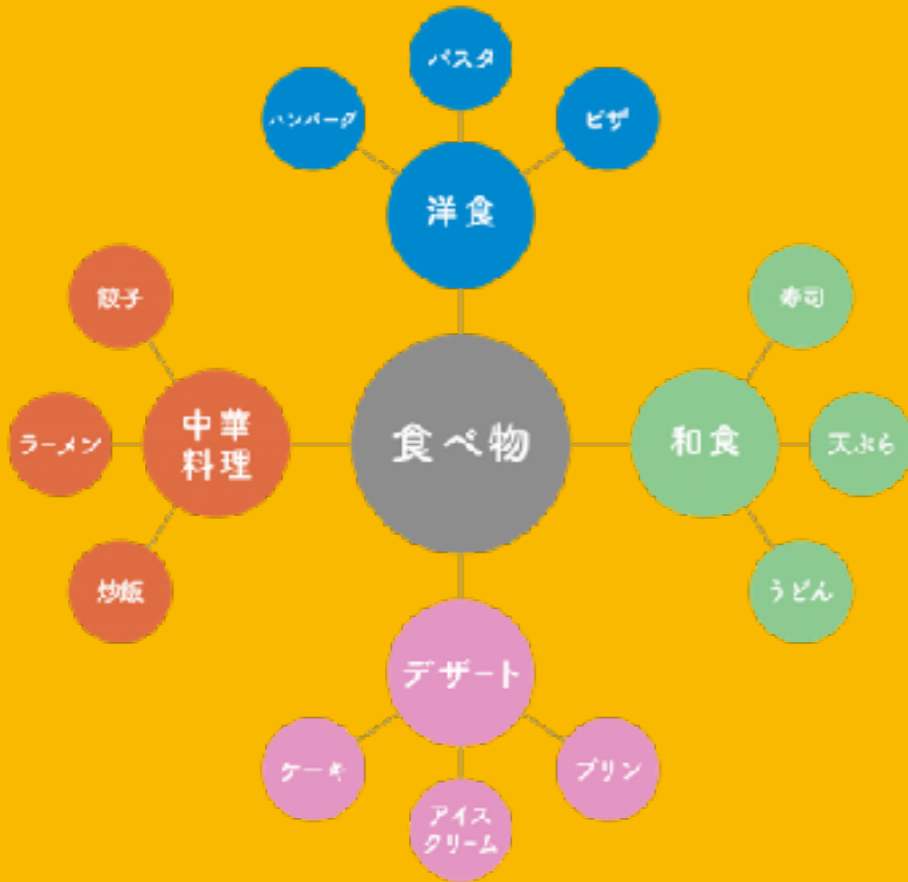
- プレゼンの閉じ方、レポートの構成に関して説明
- 30分英語訓練（今日はグループ3, 2回目）
- プレゼン準備及び可能ならスライドを決めてしまう（記録）及びグループ3でディスカッション訓練のために用意したテーマに関して（日本語でディスカッション）
- 日本語のプレゼン練習日決定

I'll use English based on these slides in Japanese so, please follow a slide if you don't understand.

おさらい

1

プレゼンのキーワード、要点を整理する



2

序論、本論、結論の具体的な内容を考える

3

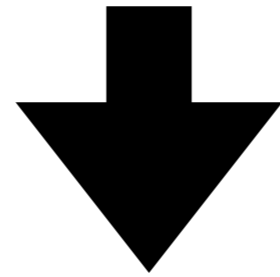
アウトラインを考える

必要に応じて調査

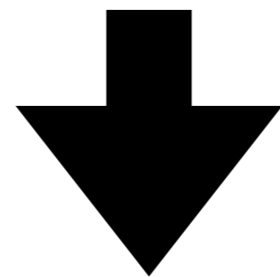
先生に意見交換

エキスパートにきく

インドロダクシヨシ



ボディ (メイン) 本論



クロージング

HOOK: つかみを加えてほしい

いちばん伝えたいこと
(見出し)

内容を簡潔にまとめる
(リード)

このあたりに選択した動画の概要説明を入れる。あるいはスキップして、概要説明は資料で渡してしまう。

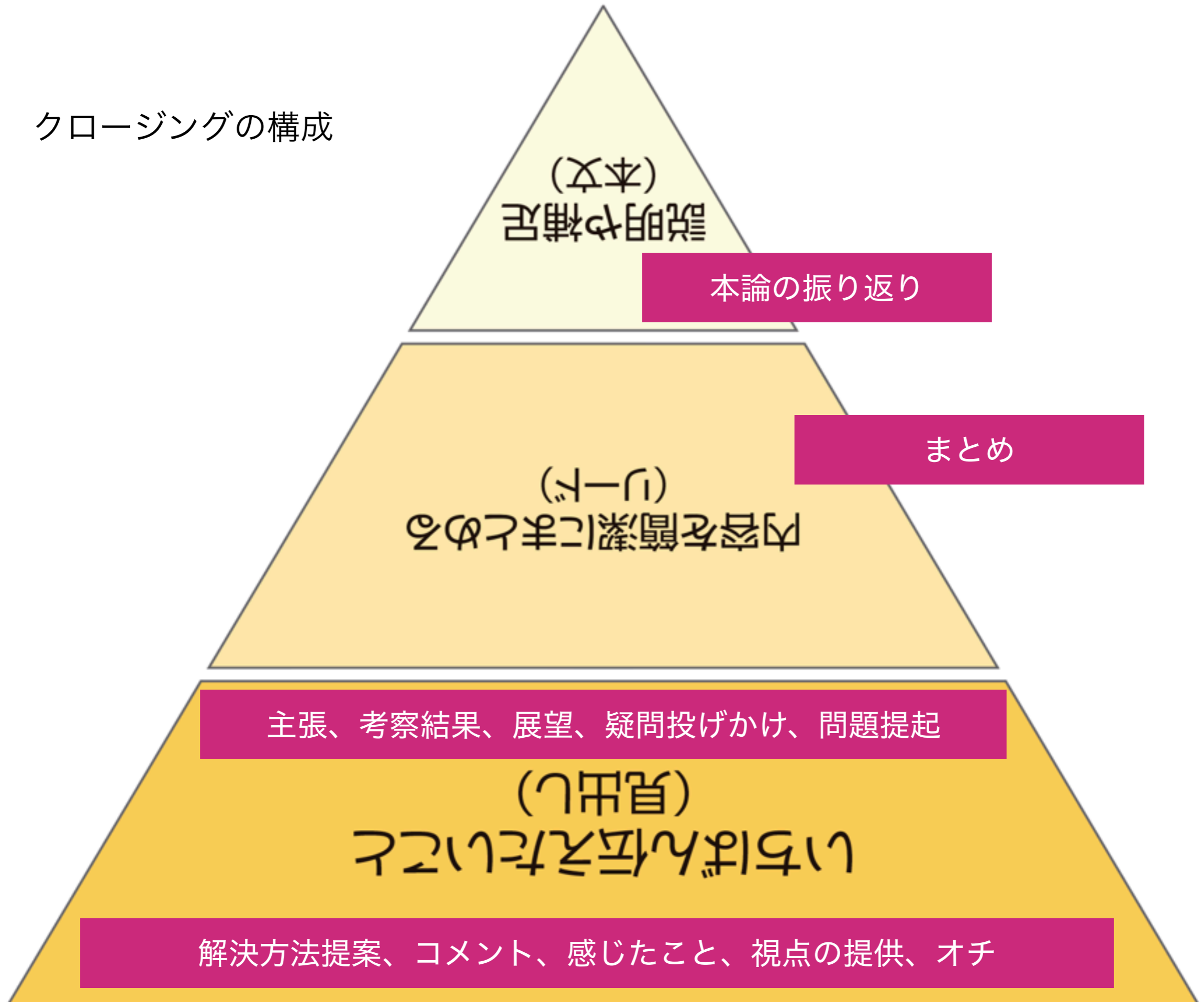
説明や補足
(本文)

ボディ・本論

- 主題・主張。メインテーマが最初にきて、そのあとサブテーマがくる、という構成にするのが一般的
- サブテーマ = 補足、聞き手に本論を伝える理由、雑学知識、ジョーク、説明、背景解説、根拠
- 補足情報は3つくらいがいいとされてる
- イントロダクションで言いたかったことの詳細、根拠、補足説明などを加える

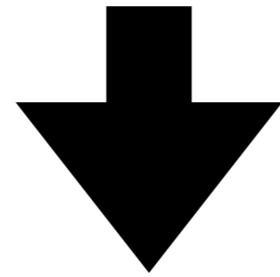
-

クロージングの構成

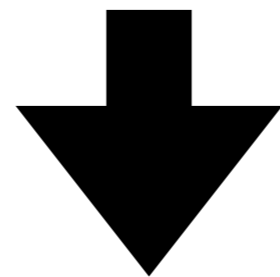


クロージング

インドロダクシヨシ



ボディ (メイン) 本論



クロージング

クロージング

何を言うか

- 再度結論を言う（イントロで言っていた場合は若干表現を変えるとプラス）、アカデミックでは繰り返しの場合が多い
- 何らかの問題提起をすでにしていた場合は: 解決策、あるいはここで問題提起をして聴衆に考えてもらうでもいい。
- 特段何も特別なことは言っておらず説明の場合は、どこが重要なのか、何を学ぶべきなのか言うとし
- カジュアル、お笑いであればオチ
- どのようなスタイルであれ、受け手に何か得られるものを提供する、行動を促す（ビジネスであれば購買を促す）、へえ～って思わせるのも行動を促すことに含まれる

30分の英語訓練

その間、他グループは準備とグループ3のテーマに関して自由にディスカッション（メディアに関連したことを学ぶ作業になる）

グループ3のテーマ

元動画: How has sns impacted "Gen Z's identity"?/ How Gen z will change the world

今の時代、差別などが問題視されているのは何故/ネットに触れる生活をしてきて、いろんな価値観にふれてきたことにより今までの世代より差別問題などに注目するようになった

- 今までの世代と違って日本のジェネレーションZって差別問題を意識してるのか？（世代関係なく、ますます意識高いとかって言われるし、日本の場合は差別問題を避ける雰囲気がある気がする。あるいは差別を無くそうと綺麗事のように言うけど、当事者の実態は意識できないって感じの人もいる気がする）
- それはSNSによって様々な価値観に触れているからなのか？（SNSは自分のみたくいものを見る感じで多様な価値観に触れることってないんじゃない？あるいは最近だとタイパ、コスパが重視されるから、そもそも自分と違う価値観は無視してるんじゃない？それが楽ではある）
- 日本のGen Zと世界のGen Zは同じだと思いますか？同じ考え方を持ってると思いますか？SNSで皆問題を共有してたりするんですか（先生の上さんからの疑問だそうです）

プレゼン課題に関して、説明・例
(どういう感じでプレゼンをまとめるか参考)

プレゼン準備:やらなければならないこと

- スライド、資料を作成する
- 発表の練習をする
- 以上の二つをする。プレゼンをパーフェクトなものにするために（先生の基準とかじゃなく、メディアを学ぶ者として）

評価基準

- メインポイント（主旨）が明確か
- 可能な限り論理的か
- 聞き手を配慮するプレゼンに見えるか
- 面白さ、独創性はあるか？ Is it interesting?
- 効果的に情報を共有しようとしているか？

継続してください

1.個人課題を 進める

2.グループ課題を進める

3.英語の自学自習、語学の自学自習

4.色々なニュース、ドキュメンタリー、本、雑誌、漫画、ネットで情報を得る。興味がありそうなものは可能な範囲で深掘り

5.メディアに関係したこと、本、動画、論文、エッセイを読む